

「流山市こども会議」の進捗状況

第1回：令和5年11月19日(日)午後1時30分から午後4時30分

第2回：令和5年年12月10日(日)午後1時30分から午後4時30分

【今後の予定】

第3回：令和6年1月27日(土)

第4回：令和6年2月18日(日)

報告会：令和6年3月16日(土)



流山市こども計画（仮称）※をつくるために、今年初めてこども会議を立ち上げました。

小学校5年生から高校生のみなさんが自由に意見を言える、伝える場所として、今回を含め4回程度の会議を開催します。

第1回会議では、事前に募集した「今を幸せに楽しく過ごすことができるようなアイデア」の中から、話し合うテーマを皆さんで決定します。

第2回～第3回会議では、5人ごとのグループに分かれてそれぞれのテーマで意見をまとめ、資料をつくります。

最終回には、こども委員の皆さんから井崎市長・田中教育長にグループで話し合った内容を報告してもらいます。（3月実施予定）

※流山市こども計画（仮称）

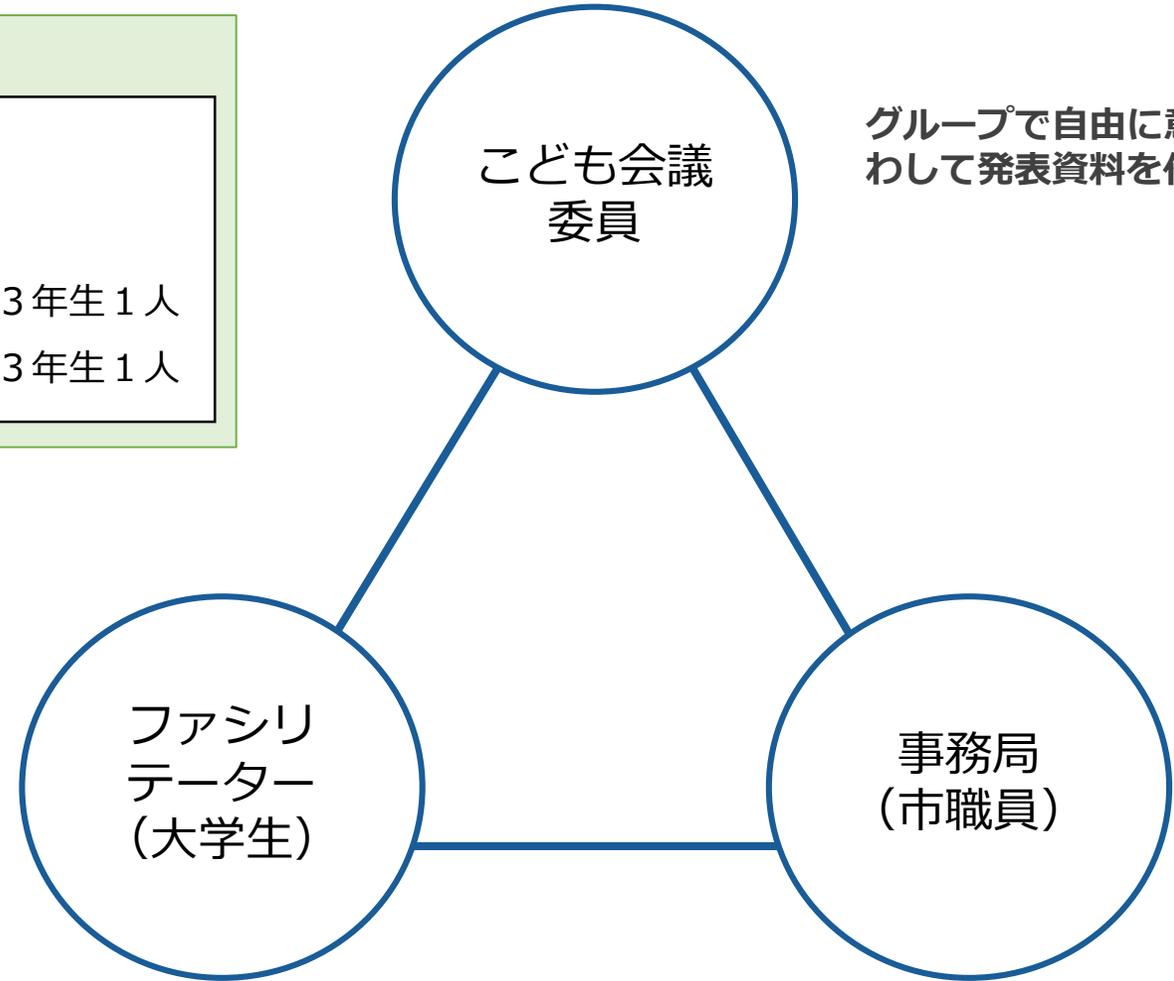
流山市におけるこども施策についての計画（令和7年度～11年度までの5か年計画）を定めるものです。こども施策とは、おとなになるまでの心や身体の成長をサポートしたり、子育てをする人たちへのサポートをする取り組みです。

こども委員の構成グループ

【全3グループ】

- ①：小学5年生1人・中学2年生3人・高校3年生1人
- ②：小学5年生1人・中学1年生1人・中学2年生2人・高校3年生1人
- ③：小学5年生1人・中学1年生1人・中学2年生2人・高校3年生1人

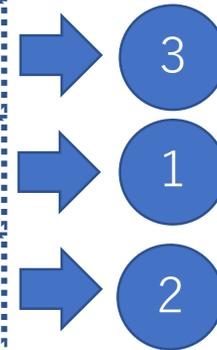
こども会議委員の皆さんのサポートをしてくれます。
(江戸川大学生10人)



グループで自由に意見を交わして発表資料を作ります。

グループで話し合ってもらった7つのテーマ

- ① 将来のことや職業（体験）について
- ② 校則や制服について
- ③ 相談できる場所や人について
- ④ 自然環境や通学路などについて
- ⑤ 公園や遊び場（子どもの居場所づくり）について
- ⑥ 防災や防犯について
- ⑦ 学割などの経済的支援について



こども・若者意見募集で出されたご意見の中から、主な7つのテーマを選びました。

第①グループテーマ

相談できる場所や人について

(理由)

- スクールカウンセラーを利用しづらいため
- 学校へ来られなくても学習支援が受けられるようにしたい

(その他付箋上の意見)

- 心の支えになる相談場所を作った方がよい
- 色々な人と安全に話せる場所やアプリが欲しい
- 学校に来れない子などがいることを不思議だと思わないでほしい
- アンケートやストレスチェックを続けてほしい

第②グループテーマ

自然環境や通学路などについて

(理由)

- 登下校は危険が多い
- 開発によって起きる課題があるから

(その他付箋上の意見)

- 自転車通学の安全性の見直し
- 通学路などでガタガタする道があり、ベビーカーで通るときに困っていた
- 通学路が狭く、小学生と同じ時間に帰ると危なく感じる
- 建物がたくさんある中で、自然環境のこともしっかり行わないといけない

第③グループテーマ

校則や制服について

(理由)

- 校則をなくす・ゆるくする
- ⇒勉強に関係ないから、多様性を認めるため

• 制服の自由化

⇒ジェンダーレス・登下校の服装

(その他付箋上の意見)

- 朝の部活も含め登下校は制服を着なくてもいい
- スニーカーや靴下の色の指定
- 制服はなくしてもいいのではないか
- 他の部活も体験してみたい



第1 グループテーマ：相談できる場所や人について

【流山市の現状】

- 相談する場所はあるが、相談しにくい
 - 相談できる場所は色々あるが、あまり知られていない
- こころの健康講座・心の相談・健康相談
流山市青少年相談室・いじめ防止相談対策室・教育研究企画室
教育支援センター など

【グループで考えた解決策】

- 不登校の人が受けやすい授業をつくる
- 相談場所や不登校に関する授業をする
- カウンセラーなど専門家に授業をしてもらう
- 掲示物を作る（ポスター・カウンセラーだより）
- 全校生徒が年に1回とかでカウンセラーと一対一で話す機会をつくる

【流山市の現状に対する課題】

- 知名度が低い
- 不登校などに関して理解や知ってもらいたい
- 意識や考え方を変えなければいけない

（プラスアルファ）

【課題解決に向けて自分たちが何をできるか】 ※（私たちの理想）としてまとめられた内容

- 人にばれない
- 不登校はおかしくないと感じてほしい
- 朝行けなくても、午後から行ってもいいように
- 先生の態度が学校生活に影響を与えることを知ってほしい



第2グループテーマ：自然環境や通学路などについて

【流山市の現状】

- 市民に意見を聞いたり安全を守るための指導をしている
⇒ 合同点検・通学区域生徒への指導
- 市に緑を増やしたり、ごみを削減したりして環境への負荷を減らしている
⇒ 生き物が住みやすい環境づくり

【グループで考えた解決策】

- 地域の人に協力してもらう
- ポスターやチラシなどで政策を伝える
- 小・中学生向けのわかりやすいサイトをつくる
- 身近（公園・学校・通学路など）に植物を増やして、触れる機会（木を植える体験など）を増やす。
- 交通安全教室を増やす
- 環境問題に触れる機会をつくる
（浄水場・ごみ処理場の見学など）

【流山市の現状に対する課題】

- 通学路に人手が足りないことにより安全が守られていない
- 市の現状で記載した企画や政策が認知されていない
- 環境問題に対する意識が低い

（プラスアルファ）

【課題解決に向けて自分たちが何をできるか】

- 覚えやすいキャッチコピーをつくる
- 学校内で意見を出す機会をつくる
（生徒総会・意見BOXなど）



第3グループテーマ：校則や制服について

【流山市の現状】

- 学校によって違いがありすぎる
- 話し合う機会がない
- (生徒総会で) 意見が通らない
- なくても良い校則とあって良い校則がある

【グループで考えた解決策】

- おためし期間として校則をなくしてみる (全校統一)
⇒実施する前と後の生徒の様子を比較して校則の見直しをする
- 校則を自由化した後成績に関わらないミニテストを行い、校則によって学力が低下しないことを証明する

【流山市の現状に対する課題】

- 個性がなくなってしまう
- 自律できなくなる
- 学校生活が楽しくない (勉強へのモチベーション低下)
- 校則によってお金がかかる

(プラスアルファ)

【課題解決に向けて自分たちが何をできるか】

- 先生たちにうったえる
(署名運動をして同じ意見の人を集める)
- 学級会の議題にする

